

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2014 年 1 月号 (第 68 号)

発行責任者 薄井 文子



撮影：長岡 慶一（所沢の乗馬クラブにて）

あけまして
おめでとうございます

《年頭所感》

事業を充実・飛躍の年へ

事業部長 杉浦 正紀

ところざわ倶楽部会員の皆様、明けましておめでとうございます。

本年は「午年」ということで「飛躍の年」「素晴らしい年」となりますようご祈念申し上げます。

ところざわ倶楽部も今年で発足 7 年目（第 7 期）を迎え、今年度から第 20 期の所沢市民大学修了生も加わり 270 人を超える大所帯となり、ますますその活動を発展させていく時期になってまいりました。

日本経済は、ようやく少し明るい兆しが見えてまいりましたが、世の中を取り巻く社会情勢は中国、韓国、北朝鮮といった近隣諸国とのぎくしゃくした国際関係を始め、まだまだ暗い話題ばかりが先行しております。そんな中であって、我がところざわ倶楽部は“ともに集い元気で楽しく！”をモットーに地域に学びを活かし貢献する倶楽部を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、本年も会員皆様方のご協力、ご支援の程お願い申し上げます。

今年度の活動につきましては、定期総会、「広場」等でお知らせいたしておりますが、「講演会」「サークル発表会」「各種講座」「文化祭」等々の行事を予定いたしております。

特に、倶楽部会員全員が参加できるような行事をということで今年 3 回目を迎える「文化祭」を更に充実させていき、楽しい「お祭り」にしていこうということで、現在、いろいろ企画を練っておる所でございます。また、全員参加できるような、或いは各サークル間の交流が出来るようなイベント（芋煮会、バス旅行、懇親会等）を年度後半に実施できるよう考えております。

どうか、会員皆様方からもアイディアをどしどしお寄せいただきたいと存じます。

本年度も“入って良かった「ところざわ倶楽部」”そして“いきいき元気に「サークル活動」”を全力で応援してまいりますので、宜しく申し上げます

平成 26 年倶楽部事業 第 1 弾

会員の皆さん、奮ってご参加ください！ 事業部

「サークル説明会」「新春公開講演会」1 月 30 日(木)開催

日時:平成 26 年 1 月 30 日(木)

場所:新所沢公民館ホール Tel2924-2955

第 1 部:サークル説明会(13:30~14:00)

受付(13:00~)

第 2 部:新春公開講演会(14:00~16:00)

演題:「PPK84 ってご存知

高齢化社会をどう生きるか…」

講師:大久保清一郎氏

(所沢ロイヤル病院 院長)

主催:ところざわ倶楽部

第 2 部 新春公開講演会

「PPK84 ってご存知
高齢化社会をどう生きるか…」さまざまな課題に所沢ロイヤル
病院、大久保清一郎院

長が解かりやすくズバリ応えます。

第 1 部:サークル説明会

倶楽部 17 サークルの活動の説明、市民大学 20 期終了生が新しく結成した 2 サークル『「食を通して所沢を知る会」、「お父さん・お母さん、さあこれから所沢デビューしませんか」(仮)』の紹介を行います。また、ところざわ倶楽部入会、サークルへの新規加入、新サークルの申し込み受け付けを行います。

- ① 2025 年問題とは。団塊世代(昭和 22 年~24 年生まれ)が 75 歳になる年。国民の 3 割を占める超高齢化社会の到来—医療、介護の問題だけでなく年金、福祉の問題は大丈夫?
- ② 医学、生活環境の向上により平均寿命が伸びる! 医療、介護の問題がのびるだけではないのか? 身の周りのことを自立して生きる対策は?
- ③ 社会保障、インフラの整備だけでなく高齢化社会を如何に有意義に過ごしていくのか? PPK84 とは何か?

平成 25 年 12 月理事会報告

総務部長 森下 尚洋

12 月理事会は 9 日(月)に開催された。

1 会長事案

(1) 総会総括

- ・総会無事終了、協力に感謝
- ・倶楽部の存在意義の発見
- ・反省点、退任理事に対する配慮も

(2) 第 7 期活動方針と課題説明

(3) 20 期生の新サークル結成の動きの説明

2 総務部事案

(1) 会費払い込み数 146 人、退会者 23 名、20 期生入会者 21 名 (8 日現在)

(2) 会員のメールアドレスは、各サークルで管理要請

(3) 広場のメール配信をやめ、ホームページから配信、今後の検討課題

(4) 総会欠席者への資料送付、本日理事会終了後に発送

3 事業部事案

(1) 1 月行事

- ・1 月 30 日 新所沢公民館 ロイヤル病院大久保院長講演決定
- ・サークル説明は、新サークル結成の動きを見て検討

(2) 今年度事業

- ・3 月事業は、傍聴席の協力を得、藤田博司先生の講演、了解を得る
- ・5 月文化祭は実行委員会を設置して実施。実行委員会構成、内容、役割は理事会決定事項としコンセンサスを得るものとする
- ・6 月以降の行事は今後検討

4 広報部事案

(1) 「広場」1 2 号内容紹介

(2) 「広場」1 月号編成案説明、原稿依頼

(3) 各サークル広報担当者設置依頼、業務内容説明

(4) ホームページ課題と役割説明

20 期修了者抱負を語る ②

～ところざわ倶楽部に入会して～

日本の芸能をもっと学びたい！【杉本 哲雄】



出身地：福島県 育ちは東京渋谷区
2年次選択講座：日本の芸能
趣味：切り絵、美術鑑賞

所沢市に越して 35 年になりますが未だに所沢市についてほとんど知らない状態です。趣味は多くありますが、今も続けている「切り絵」を生涯の趣味として同好会の「とこの会」を引き継ぎ、展示会等の活動をして楽しんでいます。

2 年次では伝統芸能に興味があったので迷わず「日本の芸能」を選択、全く知識も無かった「能楽」に触れ心を新たにしました。発表会では「能面」を担当しました。「能楽」は入口の門をくぐった程度ですが、22 期生の企画委員として「日本の芸能」について今後も勉強し、広めていくつもりです。ところざわ倶楽部広報紙「広場」は各サークルの活動紹介や倶楽部の様子が紹介されていて、面白く大変参考になっています。倶楽部を知るために入会手続きをしました。いずれ何かのサークルに入会して一緒に行動したいと思いますので宜しくお願いします。

体験をしながら、自分の目で！【中原 幹男】



出身地：佐賀県佐賀市
2 年次選択講座：日本の農業
趣味：野菜作り、トコトコ農園会員、美術鑑賞、ゴルフ

20 期の学習を続けていく中で、第二の人生は「体験をしながら真実を自分の目で確かめていくこと」をスローガンとすることに決めました。2 年次に「日本の農業」を食糧確保の観点から選択し、その体験現場として「トコトコ農園」に加入し野菜作りを始めました。2 年次の農業グループでは「所沢の農業」をフィールドワーク中心に学びました。「耕作放棄地」のことなど今後も注視していこうと思います。会社生活をしていた時に、台湾・香港・中国華南地区を度々出張で訪れました。初訪問から 30 年間の変化は、個別の街の外観のみならず外交・環境にも大きく現れています。「不都合な真実」ゴア副大統領の DVD の題名ですが、正に自分の足元で起こっている些細なことも、今はグローバルに見通すことが必要な時です。

地球号！今どうなっているのか？【中村 宣夫】



出身地：東京都
育ちは茨城県古河市～埼玉県浦和市
2 年次選択講座：所沢市史
趣味：写真撮影、ハイキング、サイクリング

市民大学の 2 年間楽しく過ごさせて頂きました。1 年次は所沢学をはじめとする一般教養講座を受け、今までの会社生活の専門分野から一歩抜け出た知識を得ました。2 年次は「所沢市史」を選択しました。以前から歴史に対し二つの疑問をもっていました。歴史は学問（史学）なのか？歴史は繰り返すのか？この解決に挑戦しました。歴史的な事象の因果関係に着目して歴史を見直すことで疑問を解決する手がかりを得たような気がします。今、オゾン層の破壊、地球温暖化、PM2.5 による大気汚染など私たちの居住環境に大きく影響する現象が発生しています。原因は自然現象、人偽的な要因によるものなどがあり、また影響を及ぼす範囲も局部的なものから全地球的なものまで様々です。これらの問題にどう向き合っていけば良いのでしょうか？この問題にトライしたく「地球環境に学ぶ」会に入会しました。

ところざわ倶楽部の皆さま、宜しくお願いいたします。

世界との係わりを考え理解したい！【福田 晴男】



出身地：大阪府
2 年次選択講座：「音楽」
趣味：音楽（レコード、オーディオ）、歴史（古代日本・中国・朝鮮史）

市民大学卒業後は、引き続き「ところざわ倶楽部」に入会して、「アジア研究会」、「楽悠クラブ」、「地域の祭り研究会」に所属し、諸先輩とご一緒に楽しく活動していきたいと思っています。現役時代には家族でタイ国（バンコク）に 7 年間駐在して、現地スタッフと仕事、会食、旅行を共にし、現在も交友を続けているため、タイ国への思い入れは特に深いです。また、古代の日本と中国・朝鮮との係わりに関心があるため、歴史書を読み、中国や韓国の時代劇を観たりしています。今や、インターネット経由で世界各国の TV 番組や新聞記事に無料でアクセスできるため、生きた情報を入手し、「アジア研究会」での海外との係わり深い方々との語らいを通して、日本とアジア各国、世界との係わりを考え、理解を深めていきたいと思っていますので宜しくお願いいたします。

サークル活動の展望

本年の行事予定

《公園を楽しむ会》

渡部 正俊

6 割強といえばスポーツの世界ではサッカーでも野球でもリーグ優勝できる立派な成績です。しかしサークル活動実績ともなればブーイングが出そうです。

昨年の「公園を楽しむ会」が実行できた屋外行事の実施率は 6 割 4 分でした。天候不順が原因で 6 月から 4 回も連続で行事が中止となりました。“無理をしない”が基本ですが、今年は他のサークルのやり方も参考にしながら実施率をもう少しアップしたいと思っています。月 1 回はサークル員が集まれる行事が出来ればいいなと考えています。

「公園を楽しむ会」も今年で 5 年目に入ります。マンネリ化になる時期ですが行事に参加した人が何かしらの発見や感動があればと願っています。

昨年の 12 月に定例会（参加 19 名）で今年の行事内容と担当を大まかに決めましたので概略を紹介します。どれか興味のある行事ありましたらご参加下さい。1 月は向島（隅田川）七福神巡り。堀切駅からスカイツリーを目指して歩きます。2 月は横浜中華街方面。近辺の公園等を訪ね中華街で昼食。3 月は房総方面へ

バス旅行。海ぼたる～館山、日本大仏あたりを散策、



途中道の駅にも立ち寄ります。4 月は多摩御陵～森林科学館の散策。桜の種類が

多く、楽しめそうです。

5 月はさいたま森の博物館散策。昨年 2 度中止になったので晴れの確率が高い 5 月に設定しました。6 月は府中郷土の森とビール工場見学。7 月は北山公園と八国山緑地散策。知る人ぞ知る“6 月の森”はこの時期どんな風景に？8 月と 12 月は定例会と懇親会。9 月は御岳山ハイキング。10 月はレインボーブリッジを渡りお台場まで歩きます。2 年連続で中止となった行事です。11 月は平林寺の散策。紅葉を期待しています。

サークル活動の展望

アジア研究会 2014 年展望

《アジア研究会》

杉浦 正紀

2013 年は中国との尖閣諸島を巡る問題、韓国との歴史認識問題、北朝鮮の国内粛清問題や拉致問題の未解決と多くの問題が 2014 年に繰り越されております。上記以外にもタイ国の政情不安等々アジアを巡る問題は消えることなく次々に起きております。

日本は、そのアジア近隣諸国と仲良くし、共存共栄を図らなければならない立場にあり

ながら、今一つ、そのリーダーシップを発揮しておりません。そうした状況の中、我々アジア研究会はお隣の国韓国、中国を始めアジア諸国の政治、経済、文化について勉強をし、理解を深めようということで、サークル活動を展開している所です。

今年度は、第 20 期修了生 7 人の新人の方が入会され、合計 27 人のメンバーで活動をスタートすることになり、特にこの 7 人の方々は、昔、中国、シンガポ



ール、台湾等へ赴任経験があり、海外経験が豊富でアジア諸国に詳しい皆さんという事で、更に一層充実した活動が出来るものと楽しみにしております。

今年度も、前年度から引き続き毎月第 3 水曜日に中央公民館で定例会を開催し DVD 観賞、映画鑑賞、体験談等を中心に活動を進め、更に一步外へ足を踏み出して各種イベントへの参加、タウンウォッチング、各国料理の食事会等の企画を推進していきたいと考えております。

現在、所沢には約 5000 人近い外国人が定住されており、その内の約 8 割の人がアジア人（中でも中国人、韓国人が圧倒的に多い）という事なので、機会を見つけて、その人達との交流の場も作りたいと思います。会員の皆さんの中でアジアに興味のある方は、是非一度サークル活動を体験入会してみませんか。いつでも大歓迎です。本年もアジア研究会を宜しくお願い申し上げます。

ところざわ倶楽部に想う

島川 謙二

一提言シリーズ第2回:なぜ?と問いかけ、やってみること一

▼新しい執行部がスタートしました。会員を増やすことも大切ですが、もっと大切なことは価値ある『ところざわ倶楽部を継続させ受け継いでいく組織体制をいかに構築していくか』であります。

各人、各サークルが出来ることを出し合って行く仕組み、雰囲気づくりが組織の活力になります。しっかりした議論と緊密なコミュニケーションが、そのカギだと考えます。

▼昨年10月21日の第20期修了生に対する3団体(OB会、さんさん会、ところざわ倶楽部)の勧誘会に初めて出席しました。3団体の統合を云う人がいますが、私は勧誘会を聞いて、それは的外れだと思いました。3団体の性格、体質、歴史がちがいます。『協働』はあっても『統合・合併』を考える必要はありません。

▼私の好きな城山三郎は『還暦からの心得5カ条』で①年を考えて無理をしない。②眠くなれば』寝て、

目がさめたら起きる。美味しい物を午後8時までに食べる。③好きなことをやる。④義理、メンツを捨てる。⑤友だちをつくり、敵をふやさない。を云っています。これは私にとって行動指針とでもいうもので大事にしています。

▼一人一人が、また一つ一つのサークルが、ところざわ倶楽部をつくっていく、このことをハッキリと確認することが出発点です。たとえば『なぜ文化祭をやるのか?』と問いかけてみましょう。少し長い視点も持ちながら、なぜ?を繰り返して・・・

『生涯学習』という言葉が好きではありません。私は『ずうっと勉強をつづけたい』と思っています。できれば『なかま』と一緒に・・・楽しく。発信するためには、受信し充電することが必要です。やってみることから始まるのです。(完)

【エッセイ】

こんな事あんな事 ④

八木 雅子

▼昨年の3月、細山俊男さんを送る会が15期企画委員を中心に開かれた。所沢市の社会教育、生涯学習のリーダーとして、所沢市民大学も懇切にお世話いただいた。この日細山さんは長野県阿智村のパンフレットと、この名産・菊芋茶をお持ち下さった。定年後は阿智村に移り、所沢と週半々の生活になるという。

▼阿智村は長野県の南端、岐阜県に接する村で、昭和48年に発見された昼神温泉郷の周辺にはたくさんの神話や伝説も残っているとい、読むほどこに興味が



わく。所沢市の公民館で嘱託として働いた仲間Yさん、Iさんと3人で10月に阿智村の細山さんを訪ねた。

▼4月24日の朝日新聞に、満蒙開拓平和記念館が阿智村に完成との記事を読んだ。細山さんに案内をいただいた。静かなたたずまいの中を見て進むうち5、6人の女性たちに会った。“どちらからですか?”と聞くと県北部から…とのこと。開拓団として渡った方々のお知り合いだろうか。何か心打たれるものを感じた。その後細山さんの車で昨夜の星空ツアーのゴンドラの終点までドライブ、神坂神社、暮白の滝などを見て私たちは茅野へ向かった。

▼茅野市では茅野市民館で舞台芸術を中心に働くYさんの娘さんにご案内いただいた。神長官守矢資料館は諏訪上社の神長官をしていた守矢家に伝わる古文書を収蔵し展示している。入ると鹿の剥製の首が並び、まるで迎えてくれているようだ。この建物を設計された藤森照信氏の設計で「高過庵」を里山の木の上にあるのも見た。見るもの聞くもの…そう日本一の星空も天空で聴いたジャズも生演奏だった。台風が来ているよ…そんなときだったのだ。

福島原発事故と宮澤賢治

滝谷 紘一

はじめに



私は昨年 1 月のところざわ倶楽部新春講演会で「放射線のなにが問題かー被曝と健康」の話をさせていただきました。

(写真下)

この 3 月には、福島原発事故の発生から 3 年が経とうとしていますが、避難をしいられた 10 数万人にのぼる人々が今なお放射能で汚染された地域の自宅に戻ることができず、苦しい避難生活を余儀なくされています。田畑や森林の除染もはかどっていません。

事故当時 18 歳以下だった福島県の子どもたちの健康調査が進むにつれ甲状腺がんががんの疑いがあるとの診断結果が昨年 9 月末時点で 59 人に及び、それが原発事故に由来するのかが専門家の間で議論になっています。原発事故の影響がいかに甚大であり、長期化するのかを実感します。



一枚の写真から見えるもの

ここに示します一枚の写真は私が一昨年の夏に訪ねた飯舘村で撮ったものです。一見すると、阿武隈高原の美しい緑の田園風景ですね。

写真の右手に「飯舘牛」の看板が立っています。



しかし、ここに放牧されてのんびりと草を食んでいたに違いない牛達の姿はなかったし、全員避難になった

村の中で見かけた人影は、万一の火事などに備えて留まっている数名の消防団員だけでした。

汚された宮澤賢治の愛した自然

私は最近になって、よく思うのです、東北で生まれ育った詩人、宮澤賢治のことを。賢治は空とも雲とも花々や木々とも動物たちとも話をし、彼らの声を聞き、彼らと心を自由に行きかうことができる人だった、と言われています。

その類い希な天分が数々の名作童話を生み出してくれました。今はあの世にいる賢治が、原発事故により人々や動物・植物が辛酸な目にあい、山・川・海が容易に取り戻せないほど汚れたことを知ったら、どれほど胸を痛め悲しむことでしょう。

また、賢治は詩人であるとともに科学者でもあり、農民の人たちを救うために科学の知識を活用して肥料や冷害対策などの研究と普及にも力を尽くしました。賢治が生きていたら、甚大な事故を招いた原発、今後の原子力の利用の是非についてはどのように考えることでしょうか。



おわりに

長年原子力分野で仕事をし、今はリタイアしている私ですが、人々と自然をこよなく愛した宮澤賢治の生き方をさらに学んで、今の時代における科学技術の利用のあり方について、もし賢治だったらどのように考えるだろうかと問いながら、しっかり歩んでいきたい

滝谷 紘一氏のプロフィール

- ・元原子力技術者
元原子力安全委員会事務局技術参与
- ・現在は、昨年 4 月に設立された原発ゼロ社会を目指す政策提言グループ「原子力市民委員会」の原子力規制部会で活動されています。
- ・所沢市山口在住

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会(杉浦正紀 2921-7739)

1月15日(水) 13:30～16:30 定例会 中央公民館
打合せ&DVD観賞(詳細は追って連絡)
2月19日(水) 13:30～16:30 定例会 中央公民館
旅行体験談を予定(詳細後報)

公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014)

1月9日(木) 向島(隅田川)七福神めぐり
2月27日(木) 横浜中華街方面散策(詳細は別途)

地域の自然を考える会(広沢正巳 2939-9181)

1月26日(日) 糀谷八幡湿地 くず掃き 8:30～
1月28日(火) 定例会 新所公民館 10:00 新年会 12:00～
2月9日(日) 早稲田 オオムラサキ越冬幼虫観察 9:30～
1～2月 糀谷八幡湿地周辺の里山整備 日程、時間未定

地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117)

1月21日(火) 定例会 9:00～11:00 新所沢東公民館
各自の課題発表。新年度の実施計画の話し合い。
2月18日(火) 定例会 9:00～11:00 ○地球環境・エネルギー問題等に関心のある方、ぜひ覗いて見てください。

野老澤の歴史を楽しむ会(小倉洋一 2949-4695)

1月25日(土) むさし夜話 生涯学習推進センター 13:00～
2月6日(木) 地産地消の調理実習

懐かしの映画・鑑賞会(二上拓夫 080-1250-6151)

1月21日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館
■「喜劇 男はつらいよ」(71年) 渥美清・若尾文子
2月11日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館
■「洋画 誰がために鐘が鳴る」(43年)イングリッド

北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)

第45回例会 1月25日(土) 13:20
新年度活動計画など
第46回例会 2月22日(土) 13:20
場所 新所沢東公民館

歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)

2月15日(土) 来迎寺から桜淵地蔵、中氷川、山口観音を
訪ねる
集合時間・場所: 下山口駅 改札外 9:30

葵の会(池田新八郎 2940-0711)

1月16日(木) 中央公民館 (13:30～16:00)
古典講座 万葉集第1回「王者の恋」

楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要)

1月14日(火) ①映画「ルートヴィヒⅡ」前編 ②ベートーベン交響曲第1鑑賞(場)中央公民館#8・9(時)13:15
2月12日(水) ①映画「ルートヴィヒⅡ」後編 ②ベートーベン交響曲第2鑑賞(場)中央公民館#8・9(時)13:15

地域の自然(多胡國男 2993-6143)

1月25日(火) 09:00～ 落葉掃きイベント
場所: 早大B地区調査地 (市民参加歓迎)
2月08日(火) 09:00～ 畑と周辺の整備
場所: 早大B地区調査地

地域の祭り研究会(加藤敏恭 2923-5263)

1月・2月予定 現在未定です。

所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835)

1月11日(土) 9:00～城 陽子ファーム落ち葉掃き
1月27日(月) 9:00～下富 関谷農園落ち葉掃き
&ところ食産プロジェクトとの交流会
2月中旬 中富長谷川農園落ち葉掃き

ドラマティック・カンパニー(小坂英子 2995-1495)

1月18日(土) 9:30～11:15 活動後に新年会
2月1日、15日(土)
『ヘンリー六世』を読み進めるとともに、実際に朗読を行います。会場: 新所沢東公民館

傍聴席(高垣輝雄 2926-7164)

1月20日(月) 定例会、14時～新所沢東公民館
今月は懇談です。みんなで新年度の活動計画を考えます。学習したいテーマ、これまでにない出前講座・施設見学・地域交流など意見交換します。

民話の会(仲山富夫 2948-9255)

1月24日(金) 中央公民館 7号室
民話朗読会
2月21日(金) 中央公民館 7号室
2月度より、原則第3金曜日開催

歴史を楽しむ野老会(居田治 2903-8400)

1月24日(金) 日本橋七福神めぐり
2月21日(金) 等々力溪谷とその周辺を歩く
3月15日(土) 門内先生の講義と大田区郷土博物館とその周辺の探訪

【私の健康法】

岡本 詔一郎

－ 病院に努めて行かない －

私はここ数年検診に行っていないし、行くのが恐ろしい！行くとは病院は高価な医療器具を備えているため、悪いところをあの手この手で探し、その結果定期的に検診に通われる羽目になる。弱虫の私はその精神的苦痛に耐えられそうもないので行かない。従って毎日健康！？でおられ、ルンルン！だ。これまでも大きな病気もしてきたが、ほとんど自分の判断で頑張って治癒して来た。すぐ入院と言われた時も毎日出勤し、入院が長引いた時は自分の判断で退院、後遺症が出るかも！と薦められた薬は断った。今年の5月に顔面麻痺を患った時も2度医者に行った切り。知人から「父は爪楊枝だけで治しました」と聞き、これだ！と、爪楊枝を使って顔を突いていたら、一月ほどで治った。

自分の自然治癒力に期待がかかる！！

病院に行かないで、健康を維持するのは大変、三種の神器！

が私の常備薬。ほとんどの病気はこれらで治る。オロナインは毎日どこかに塗っている。正露丸と新ルルルはよほどのことが無いと飲まない。しかし旅行には何時もお供！



正露丸 新ルル オロナイン

健康の秘訣：「体調を崩しかけた時、真っ先に不具合が現れるところの発見」。この兆候が出たら、まず、休養、睡眠。活動のペースを落としての生活が肝要。

～そうすればほとんど回復に向かうこと間違いなし～

《編集後記》

▼明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

我々第7期編集委員会も新しいスタッフが2名加わり、9名で「広場」「HP」の編集にフレッシュな気持ちで臨む所存です。年末に各サークルの広報委員をお願いいたしましたが、情報提供、原稿協力よろしくお願いいたします。親しみ易く、面白いページを協力しあって作っていきましょう。

▼今年は午年という事で表紙は馬の写真にしました。写真担当の長岡さんが、市内の乗馬クラブや馬事公苑に何回も足を運び撮影しました。動物相手に苦勞されたようです。年は重ねても、平成26年度「飛躍の年」に、サブレッドの如く「華麗に走り抜ける年」にしたいですね。

ぐるぐると回して運ぶ飾り曰
冬桜雲ひとつなき一揆の地
京よりの山椒ちりめん冬うらら
亡き人を偲びて冬の星座かな
冬うらら川越芋の幟り旗
喧騒の通り色づく年の市
冬紅葉楓川沿ひを染めあげて
幾重にも紙に漉き込む光かな
枯薦の這ふ学食のオムライス
デザートも酒の香高き冬の膳

鈴木 征子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子

駅裏のピザ屋閉じたる師走かな
時雨るるやコーヒーショップのうすあかり
寄せ鍋や補聴器つけて兄弟会
家族分父の作りし柳箸
冬空に皇帝ダリアすくと立つ
防火用赤きバケツの初氷
忙の字と連れ立ちて来ぬ十二月
冬うらら一回りして七千歩
下町の空にひびきて除夜の鐘
(十一月九日 会員高橋三郎氏が逝去されました)

佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
高橋 三郎



むさし野俳句会（二十五年十二月）吟行作品抄



▼私事です私にはたまたま午年で72歳になります。ところざわ倶楽部も7年目、編集も4年目になります。

「振り返れば遠くに来たもんだ」と思いつつ「暮らしの歳時記」で馬にまつわることわざを見てみました。そしたらあるわ、あるわ。有名なのが「人間万事塞翁が馬」安易に喜んだり悲しんだりするな、「馬には乗ってみよ、人には添うて見よ」何事も経験してみないと分からない、「馬齢を重ねる」無駄に歳をとる等々。「馬が合う」、「馬の耳に念仏」「生き馬の目を抜く」等もある。なるほどと納得する、年齢になったようです。

▼午年は干支で7番目。十二支の中間で成長から衰えをみせ始める状態とか…。ところざわ倶楽部も7年目、成長から成熟の年にしたいものです。

(記 池田新八郎)